

## 令和6年第2回定例会

## 議案審査特別委員会における主な議案質疑

(6月11日開催)

議案審査特別委員会は議長を除く15名の委員で構成。

### 議案第34号 かすみがうら市交流センター等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

#### 【議案の概要】

古民家江口屋の利用料金について統一するとともに、7月下旬にオープンします新たな宿泊施設水郷園について、交流センターの付属施設に位置づけ、利用料金を設定するものです。

**Q** 新たな宿泊施設水郷園の、古民家江口屋に対する差別化の内容と、令和6年度の収益見込みは。

**A** ゲストハウスである古民家江口屋に対し、水郷園はインバウンドや首都圏の富裕層をターゲットに高いブランド力を目指すこととしており、霞ヶ浦ガストロノミーツーリズム造成事業として開発しております料理をはじめ、高品質なサービスを提供する1棟貸し施設として料金を高価格設定とし、収益性の向上により稼ぐ地域づくりを目指すこととしており、初年度の売り上げは1400万円を目標としております。

### 承認第8号 専決処分事項の承認を求めることについて（令和6年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算（第1号））

#### 【議案の概要】

不適切な事務処理により介護保険料の還付金が未済となっていたことに対し、還付に要する経費として966万3000円を専決処分したものです。

**Q** 今後こういった形で市民の信頼回復に取り組んでいくのか。

**A** コンプライアンス意識を徹底するため全職員を対象とした研修を行うこと、人事評価の徹底的な見直しを行うこと、内部職員が不適切な事務処理を発見したときのため、外部に弁護士事務所による内部公益通報受付窓口を設けること等により、市民目線が欠如したところを意識から徹底的に変えていきたいと考えております。

## 厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議

発議第3号による上記決議が、全会一致で可決されました。

### 決議書の内容（抜粋）

地方公共団体の重要な意思決定を行う地方議会は、多様化する民意の集約と地方行政への反映が期待されており、その果たすべき役割と責任は重要性を増している。

地方議会議員が厚生年金に加入できるようになれば、会社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、家族の将来や老後の生活を心配することなく議員に立候補し、議員活動を続けることができる環境が整うことになる。多様で有為な人材の確保に大きく寄与すると考えられる。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。